

STAR

 **LEMKEN**

ディスクカルチ

取扱説明書

製品コード K35061 ・ K35062
型 式 FLSM07-260C ・ FLSM07-300C

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

STARR

お客様各位

この度はレムケン社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を最適な状態でお使いいただくために、定められた保守と注意事項に従うようお願いいたします。

お買い上げの際、すでに販売店より本製品の操作・調整・メンテナンスに関するご説明をいたしましたが、
加えて本取扱説明書に従ってご使用ください。
初めての操作の前に、本取扱説明書を注意深くお読みいただき、特に安全規則の項目は熟知するようお願いいたします。

この説明書に明記されていない変更、修正などを行う際には、メーカーの書面による許可が必要となります。

部品

各部品の注文の際は、本製品のネームプレートにある型式と製造番号をお知らせください。
以下に、お買い上げいただいた製品の型式と製造番号を記入していただくと便利です。

| | |
|-------|--|
| 型式 | |
| 製造No. | |

部品はレムケン社の純正部品のみを使用してください。純正以外の部品を使用しますと、機械本来の機能に悪影響を与え、機械の寿命を縮めたり余計なメンテナンスが必要となります。

純正以外の部品使用に伴う故障などについては、レムケン社は責任を負うことはできないことをご了承ください。

本機械の正しい使い方



- 本機械の使用前には必ず本取扱説明書を熟知するまで読み、一般的な衛生安全の予防措置に従ってください。
- このスマラジド7は、純粹に農作地の耕作用に設計されていますで、それ以外の目的には使用しないでください。規定に従わない使用で生じた損傷については、メーカーはいかなる責任も負えないことをご了承ください。
- 正しい使用方法のもと、メーカーが指定する操作・メンテナンス・修理を厳守してください。
- スマラジド7の操作・メンテナンス・修理は、その取り扱いと危険防止に精通している人のみが行うようにしてください。
- 一般的な技術、作業、医療上の安全規則や交通規則と同様に、事故防止のための実際の情報に従うようにお願いします。
- 本機械に勝手に行われた変更によって損傷などが生じても、メーカーは責任を負えないことをご了承ください。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 本機械の正しい使い方 | 2 |
| 目次 | 3 |
| 1 安全にお使いになるために | 4 |
| 2 警告ステッカー | 6 |
| 2.1 概略 | 6 |
| 2.2 警告ステッカーの意味 | 6 |
| 2.3 警告ステッカーの位置 | 7 |
| 3 トラクターの準備 | 8 |
| 3.1 タイヤ | 8 |
| 3.2 リフトロッド | 8 |
| 3.3 点検チェーンまたはスウェーブロック | 8 |
| 3.4 トラクターの油圧 | 8 |
| 3.5 車軸負荷 | 8 |
| 4 作業機の取り付けと取り外し | 10 |
| 4.1 トラクターへの取り付け | 10 |
| 4.2 トラクターからの取り外し | 10 |
| 5 3点リンケージ | 11 |
| 5.1 概略 | 11 |
| 5.2 ドローバーの高さ調整 | 11 |
| 5.3 ドローバー位置の変更 | 11 |
| 6 刃の位置 | 12 |
| 7 タインの深度調整 | 13 |
| 8 ディスクの深度調整 | 14 |
| 9 ローラー | 15 |
| 10 外部ディスク | 16 |
| 11 シェアボルト | 17 |
| 12 自動過負荷安全装置付きスマラジド | 18 |
| 13 メンテナンス | 19 |
| 14 公道での走行 | 19 |
| 15 重量 | 20 |
| 16 騒音、空気伝送音 | 20 |
| 17 注意 | 20 |
| 18 製品登録/保証 | 20 |
| E C 証明書 | 21 |

1 安全にお使いになるために



一般安全規則

- 作業開始前に必ず、本機械とトラクターの道路上および作業場での安全状態を確認してください。
- 本取扱説明書の記載事項と同様に、職業上の安全規則や公道の安全規則に従ってください。
- 本製品の操作・メンテナンス・修理は、それらの取り扱いと危険防止に精通している人のみが行うようにしてください。
- 機械を持ち上げて公道を走行する際、リフティングコントロールレバーは不意に下がることのないよう固定してください。
- 機械に貼られている注意事項や指示関係のシールは、安全作業のための大切な内容が含まれていますので、これらを遵守し安全に努めてください。
- 公道を走行する際は、その地域の道路安全規則を守ってください。
- 機械を使用する前にすべての機械操作や機能を十分に把握するようにしてください。作業中の確認では遅すぎることになります。
- 作業者は体の寸法に合った作業服を着用し、機械に巻き込まれやすい衣服やバンドなどの着用は避けてください。
- 火事防止のため、機械はいつも清掃を心がけてください。
- 始動前には機械周辺に人がいないことを確認してください。特に子どもには注意をしてください。
- 作業中または走行中に作業機上に立ったり座ったりしないでください。
- 作業機をトラクターに接続する際は、規定の位置に正しく取り付けてください。
- 機械をトラクターに接続および切り離しの際は、特別な注意を払って行ってください。またその際、サポートスタンドは正しい位置に調節し安定させてください。
- ウェイトは必ず規定の位置に取り付けてください。
- 路上での許容幅、許容重量を守り、また車軸への最大許容荷重を超えないよう注意してください。
- 機械を移動する際は、ギア、ライト、警報装置を点検し、必要とされるガードや保護カバーを取り付けてください。
- クイックカップラーラッチ用の解除ロープは自然に垂れ下がる状態にし、低位置で誤作動を起こしクイックカップリングが解除されないようにしてください。
- 機械が動いている間は、運転席を離れないようにしてください。
- トラクターのハンドリングやブレーキの利き具合は、取り付けられている作業機械、トレーラー、バラストの重さの影響を受けます。適切な操縦性とブレーキを確認した上で安全運転をしてください。
- 方向転換する際は、機械の幅や重心の移動に注意してください。
- 作業をする際には、すべての安全ガードが適切な位置に取り付けられていることを確認してください。
- 作業区域内に進入したり、他の人が入らないように注意してください。
- 作業機が旋回する範囲には進入しないように注意してください。
- 他の人が作業区域にいる際は、油圧操作装置を作動しないでください。
- 油圧などによって作動させる回転部分では、打撲や圧迫によるけがに注意してください。

- トラクターを離れる際は、機械を地面に下げて駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し始動キーを外してください。
- トラクターと作業機の間に入る際は、必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 使い済みのオイル、グリース、フィルターなどは現行の環境保護規則に従って廃棄してください。
- 電動式ギアの作業は、必ずバッテリーケーブルを外してから行ってください。

作業機装着時の安全規則

- 作業機をを3点リンケージに取り付ける、または取り外しの際は、不意に作業機が上がったり下がったりすることのない位置に上下操作レバーを入れてください。
- 3点リンケージに取り付ける際は、トラクターのリンケージボールと作業機の取り付けピンは同一規格であることを確認してください。
- 3点リンケージのピンチとせん断部分は危険ですので注意してください。
- 3点リンケージを外部リフトコントロールで操作する際は、トラクターと作業機の間に入らないでください。
- 作業機が移動位置にあるとき、トラクターの3点リンケージが横揺れしないようになっているか確認してください。
- 作業機を持ち上げて道路を走行するときは、本体が下がることのないように上下コントロールレバーを固定してください。
- 電気溶接作業をトラクターや取り付けられた作業機で行う場合は、発電機とバッテリーからケーブルを外してください。
- 交換部品はなるべくオリジナルメーカー品を使用してください。他メーカー品を使用する際は、その仕様に準拠した部品を使ってください。

保守(メンテナンス)の安全規則

- 修理、保守、清掃および調整は、必ずエンジンを停止し始動キーを抜いてから行ってください。
- ナットやボルトを定期的に点検し、緩くなっている場合は締め直してください。
- 作業機を持ち上げて保守作業を行う際は、必ず下部を適切なサポートで支えてください。
- カッティングエッジを交換する際は、必ず適切な工具を用い、手袋をはめて行ってください。

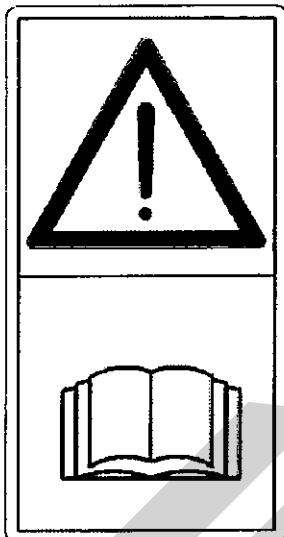
2 警告ステッカー

2.1 概略

レムケン・スマラジドはお客様に安全に作業していただけるような特性をすべて備えています。完全に保護することのできない危険個所には、警告ステッカーを貼り注意を喚起するようにしています。警告ステッカーが外れたり損傷した場合は、直ちに交換してください。ステッカー自体に部品番号が記載されていますので、注文の際はそれをお知らせください。

2.2 警告ステッカーの意味

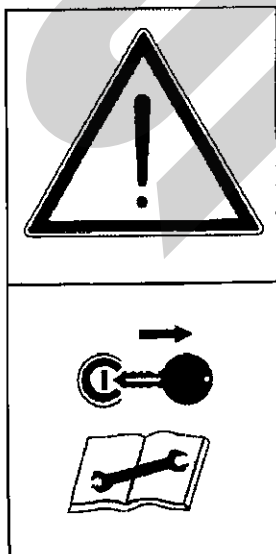
警告ステッカーの表示内容と意味は以下のとおりとなっていますので、それらを熟知し安全作業を心がけてください。



390 0555

【警告】 390 0555

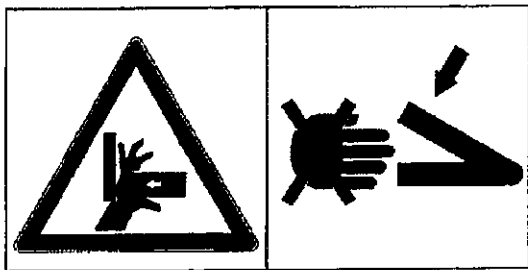
作業を始める前に、本取扱説明書と一般的な衛生安全規則に目を通し、従ってください。



390 0509

【警告】 390 0509

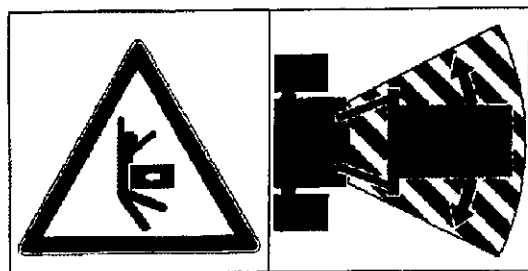
修理や保守点検を行う前には、エンジンを停止して始動キーを抜いてください。



390 0506

【警告】 390 0506

挟まれる危険がありますので、注意してください。

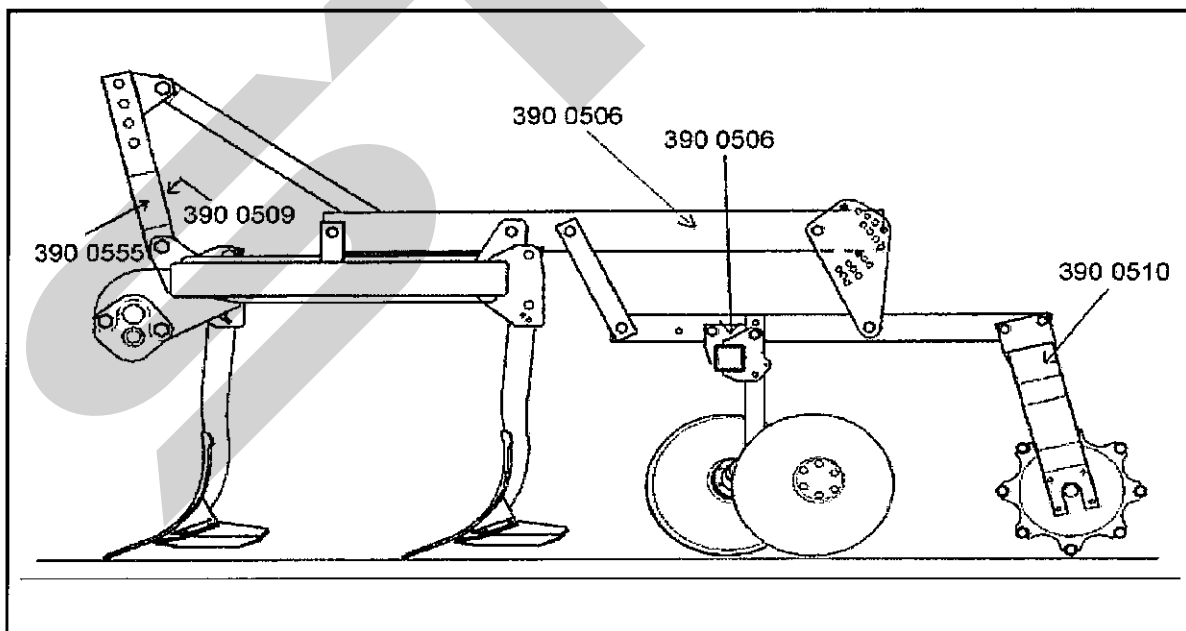


390 0510

【警告】 390 0510

作業機が作動したり振れたりする範囲には入らないでください。

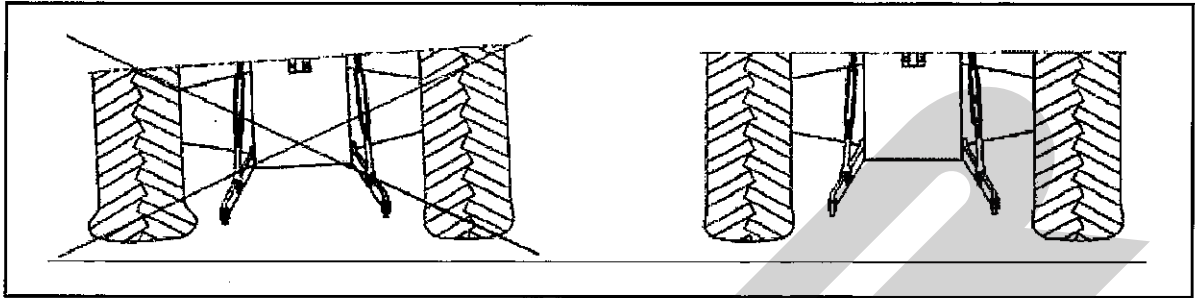
2.3 警告ステッカーの位置



3 トラクターの準備

3.1 タイヤ

すべてのタイヤの空気圧、特に後部左右のタイヤの空気圧は同一であるようにしてください。



3.2 リフトロッド

リフトロッドは同じ長さに調節します。ローリンクにリフトロッド用にいくつか選択位置がある場合は、最後尾の位置を使い、トラクターの油圧に負担をかけないようにします。

3.3 点検チェーンまたはスウェイブロック

点検チェーンまたはスウェイブロックは、耕作中にローリンクが左右に自由に動けるように調節することが必要です。

3.4 トラクターの油圧

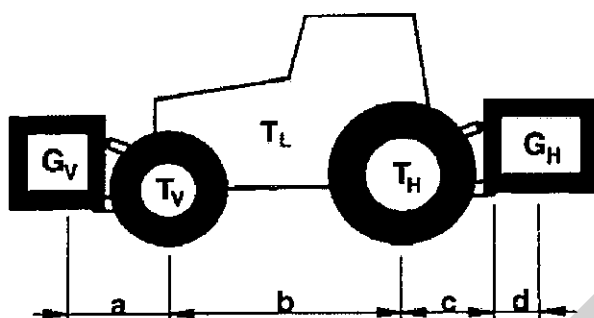
作業中のトラクターの油圧は、“フロート位置”または“ミックスコントロール”に設定します。



前後3点リンケージに接続する作業機はトラクターの総重量、車軸負荷、タイヤ負荷の許容重量を超えてはいけません。

トラクターの前方車軸にかかる負荷は、常にトラクターの自重の20%以上になるようにしてください。

前方バラストの最小値と後方車軸の負荷増加は以下のように計算します。



- G_V = 前方バラストの重量(前方の作業機)
- T_V = トラクターの前方車軸の負荷(作業機が取り付けられていない場合)
- T_L = トラクターの重量
- T_H = トラクターの後方車軸の負荷(作業機が取り付けられていない場合)
- G_H = 作業機の重量

前方バラストの最小値の計算式 G_{V min}:

$$G_{V \min} = \frac{G_H \cdot (c + d) - T_V \cdot b + 0,2 \cdot T_L \cdot b}{a + b}$$

後方車軸の負荷増加の計算式:

$$\text{負荷増加の最小値} = G_H + \frac{G_H \cdot (c + d)}{b}$$

前方バラストの最小値と後方車軸の負荷増加値の計算には、上記に該当するすべての長さや重さの値が必要になります。

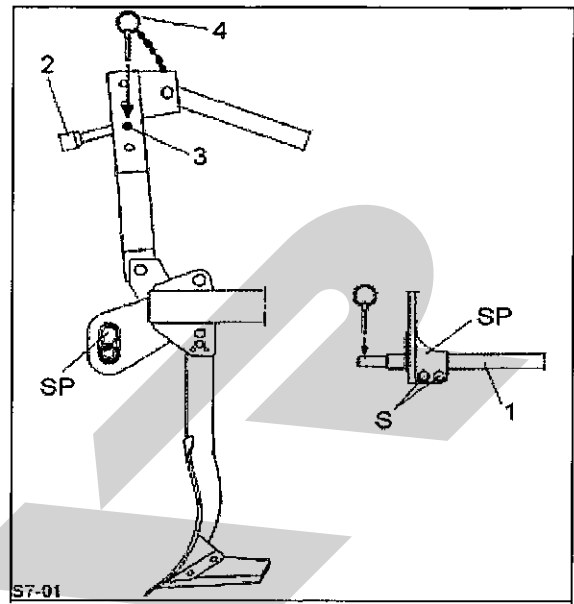
これらの値が不明の場合は、以下の方法によって過負荷を避けることができます:

作業機を持ち上げた状態でトラクターの重量を量ると、後方車軸に負荷がかかり、前方車軸には負荷がかかっていないことが分かります。また作業機を取り付けていない状態のトラクターの車軸負荷と比較することができます。

4 作業機の取り付けと取り外し

4.1 トラクターへの取り付け

- トラクターの油圧を “ ポジションコントロール ” に設定します。
- トラクターのロワーリンクにドローバー(1)を取り付け固定します。
- トップリンクを、作業中には作業機の方に上がるように取り付けます。
- スプリングクリップ(4)を使ってトップリンク(3)を固定します。
- ディスクカルチベーターが外部ディスクを装備している場合、公道を走行するときは内側に振り入れ、振り戻らないように固定します。圃場では、作業前に外部ディスクを外側に振り出し固定します。



4.2 トラクターからの取り外し

平らで安定した地面に作業機を置いておくと、再取り付けが簡単にできます。

- トラクターの油圧を “ ポジションコントロール ” に設定します。
- 作業機を下げ、トップリンクを外します。
- ロワーリンクをドローバー(1)から外します。
- 電気供給カップリングを装備している場合はそれも取り外します。



●作業機の取り付けに関する取扱説明書と同様に、本書「1 一般安全規則」も熟読し遵守してください。

5 3点リンケージ

5.1 概略

トラクターと作業機の接続装置は同じ規格でなければなりません。一致しない場合は、トラクターの3点リンケージを適合させるか、またはドロワー(1)とディスクカルチベーターのトップリンクピン(3)を一致するサイズに交換する必要があります。

5.2 ドロワーの高さ調整

ドロワー(1)は、垂直方向に調節できます。作業機が地面から十分に持ち上がらない、またはトラクターのスリップが激しい場合は、ドロワーを低い位置に取り付ける必要があります。また土中への貫通が十分ではない、ローラーが土をうまく固めることができない、トラクターの持ち上げ容量が十分ではない場合は、ドロワーを上部に取り付けます。

5.3 ドロワー位置の切り替え

ドロワー(1)の位置を変更する場合は、クランプ(SP)のボルト(S)を緩め、クランプを後ろへ押しします。クランプと一緒にドロワー(1)を180°回してから、クランプを元の位置に押し戻しボルト(S)を慎重に締め直します。

ロックタイトを使って、ナットを150 Nmのトルクで締めます。



- スマラジドの操作、メンテナンス、修理は、必ずそれらに精通し危険防止について訓練を受けている人が行うようにしてください。
- 機械をトラクターの3点リンケージに取り付ける場合は、すべてのコントロールレバーを不意に上がったり下がったりすることのない位置に入れてください。
- 3点リンケージ部分は、挟まれたりせん断されたりする危険がありますので注意してください。

6 刃の位置

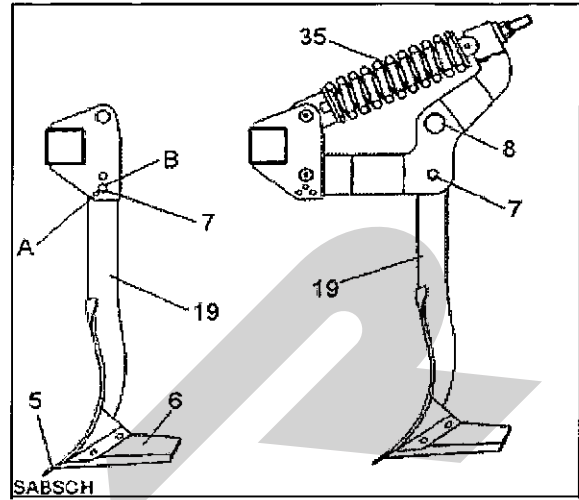
スマラジドとスマラジドÜの刃の位置は変更することができます。 水平な位置調整は、ポイント(5)とウイング(6)がほぼ同じ深さで動くようにして、苗床が平らになるようにします。 また牽引力を小さくするようにします。

角度をつけた位置調整は、固く乾燥した土でもよく貫通できるようにします。

シェアボルト装備のスマラジドの場合、ティンと刃の位置は、シェアボルト(7)の位置変更によって変わってきます。

- ・穴 A = 水平な位置(特に重く湿った土の取り除きが容易)
- ・穴 B = 急な角度の位置(特に固く乾燥した土に貫通しやすい)

しかしスマラジドÜの場合、最初にシェアボルト(7)を外し、次に偏心ボルト(8)を緩め180°回転させて、刃の位置を変更します。



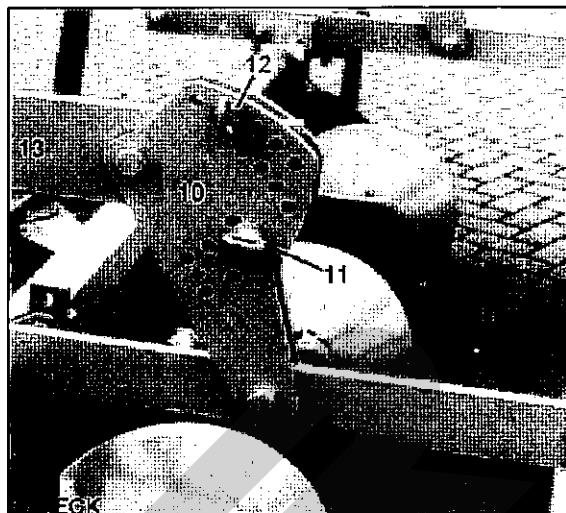
- 刃の角度を変更する場合は、必ず作業機を2~3cm だけ上げてください。
- 適切なスパナと道具を使用してください。
- 修理、メンテナンス、清掃作業は、故障の調整と同様、まずエンジンを停止しハンドブレーキを入れ、始動キーを抜いてから行ってください。

7 タインの深度調整

タインの刃はそれぞれ8～12cmの作業深度に設定され、凹凸の激しい土地やタイヤの跡が深い場合は、深めの耕作深度になります。

作業機を数cm 上げてから調整装置(10)を使って、以下のようにタインの作業深度を調整します。

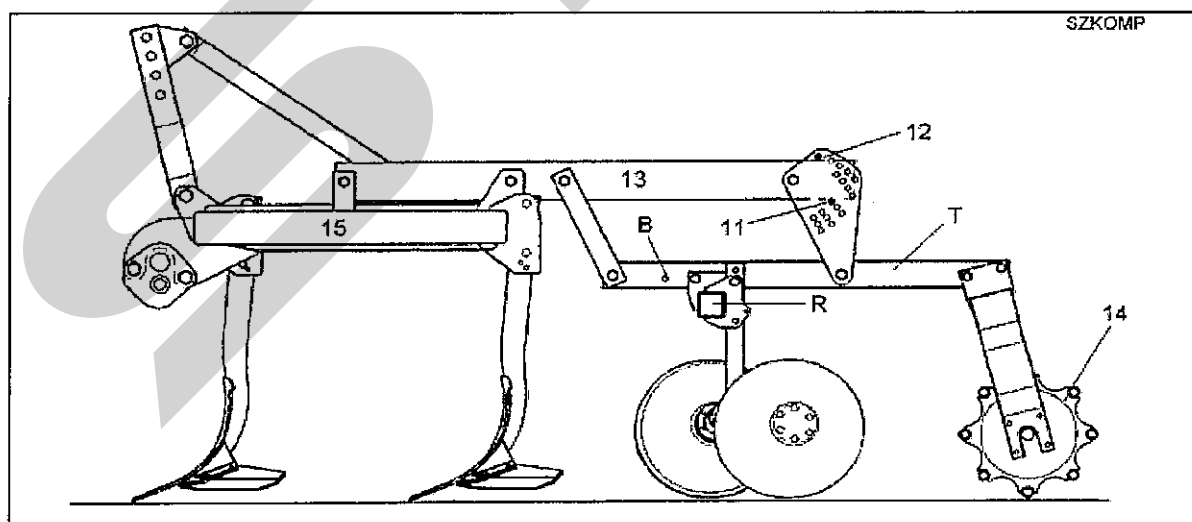
- ・作業深度を大きく → ローピン(2) を下の穴に入れる。
- ・作業深度を小さく → ローピン(2) を上の穴に入れる。



運搬器(13)の上にあるアッパーピン(12)は、カルチベーターを上げた状態で地面とチューブ・バー・ローラー(14)の間隔を十分にしたいときに使用します。カルチベーターを上げて、チューブ・バー・ローラー(14)が地面に接触する、または地面との間隔が狭すぎる場合は、カルチベーターをいっばいに下げピン(12)をキャリア(13)の上の下穴に入れる必要があります。

またトップリンクの長さは、フレーム(15)が地面とほぼ平行になるよう調整します。

トップリンクは、チューブ・バー・ローラーが適切に土を固め直すことができるように取り付けられます。



- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- 作業深度を調整する際は、必ずカルチベーターを数cm 上げてください。

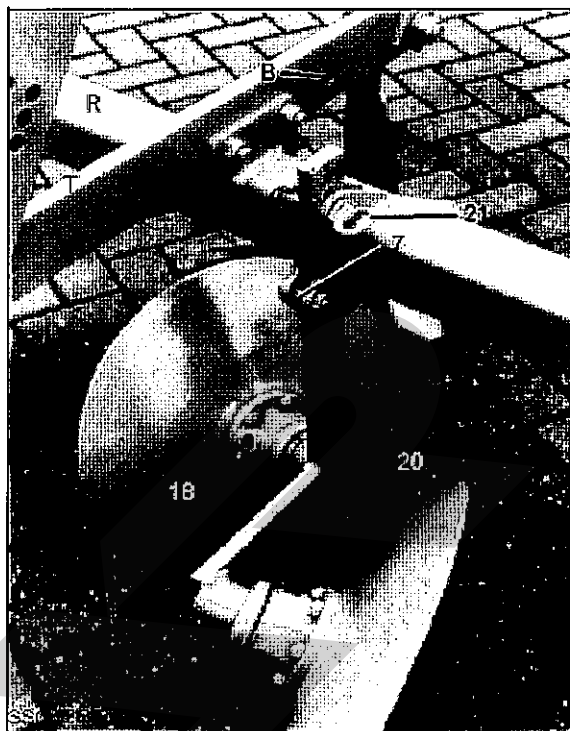
8 ディスクの深度調整

ハローディスク(18) はタイン(19) の半分程度の作業深度になるよう設定します。

ディスクは後ろのタインによって残された畝と溝を混ぜ平坦にします。作業深度が深すぎる場合、新たな畝と溝が作られることとなります。また、作業深度が浅すぎる場合、タインが残した畝と溝を十分に均すことができません。

作業深度を最適にするには、以下のようにチューブ・バー・ローラー(14) が作業幅いっぱいに土で満たされるようにします。

ディスク装置(20) の後ろのローラー範囲がディスク間よりも多くの土で満たされている場合は、ディスクの深度は浅くなりすぎます。反対にディスク間のローラー範囲がディスクの後ろのローラー範囲よりも多くの土で満たされている場合、ディスク装置の深度は深くなりすぎます。



作業深度は以下のように調整します。

- クリップを外してからピン(21) を外します。
- ディスク(18) を垂直方向に調整します。
- ピン(21) を戻し固定します。

ディスクの深度調整後は、タインの深度を変えてもディスクの深度修正の必要がありません。



- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- ディスクを調整する場合は必ず機械を完全に下げてください。

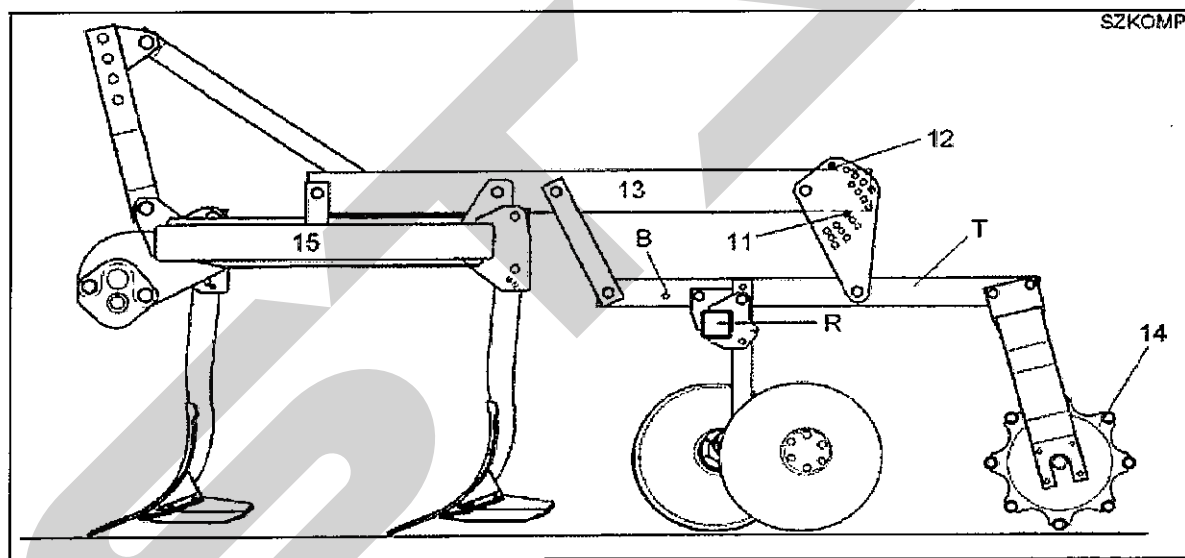
9 ローラー

スマラジド7は、チューブ・バー・ローラーD 400またはD 540を装備することができます。
ローラー(14)の土を再び固める機能は、トップリンクの角度を変えることによって影響を受けます。
トップリンクの角度はトラクターの油圧を“フロート位置”にして設定します。
トラクターのスリップが激しい場合は、トラクターの油圧を“ミックスコントロール”に設定します。

- ・トップリンクを急な角度で設定する → 土を固める効果が低い。
- ・トップリンクを緩い角度で設定する → 土を固める効果が平常。
- ・トップリンクをほぼ水平に設定する → 土を固める効果が高い。

チューブ・バー・ローラー(14)が土(軽く砂状の土)に深く沈んだり回転しない場合は、トップリンクをさらに急な角度にすることはできません(つまり作業機が高くトラクターが低い)。そのときは、トラクターの油圧を“ドラフトコントロール”または“ミックスコントロール”にしてチューブ・バー・ローラーの圧力を下げます。

また、このような土の場合は、直径400mmの標準ローラーに代えて直径540mmのローラーを使用するのが適切です。



- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- 必ずカルチベーターを完全に下げてから、トップリンクの位置を変更してください。

10 外部ディスク

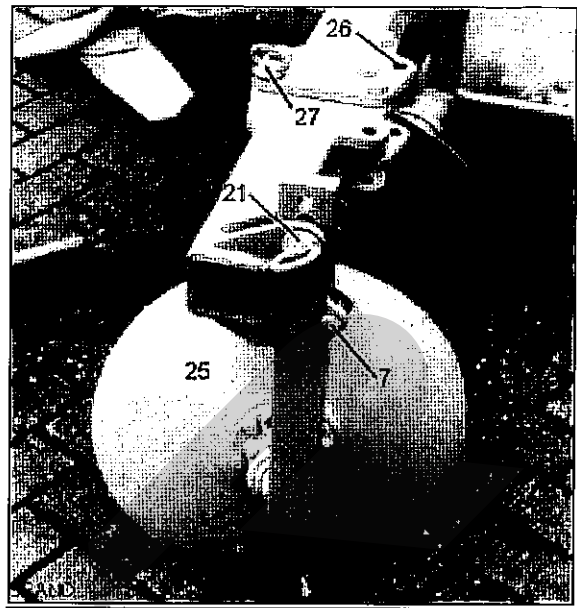
外部ディスク(25) はディスクのフレーム(R) にボルト締めします。

外部ディスクは内部ディスクのように深いところで作業はしません。その役割は、作業幅の外に放られた土を、外部タインが残した溝の中に入れることに限られます。

ピン(21) によって外部ディスクの作業幅を調整し、調整後ピン(21) を固定します。

公道を走行する場合は、外部ディスク(25) は内側に折りたたんでください。

ピン(27) を外し、外部ディスクを折りたたみ、ピン(27) を穴(26) に固定します。



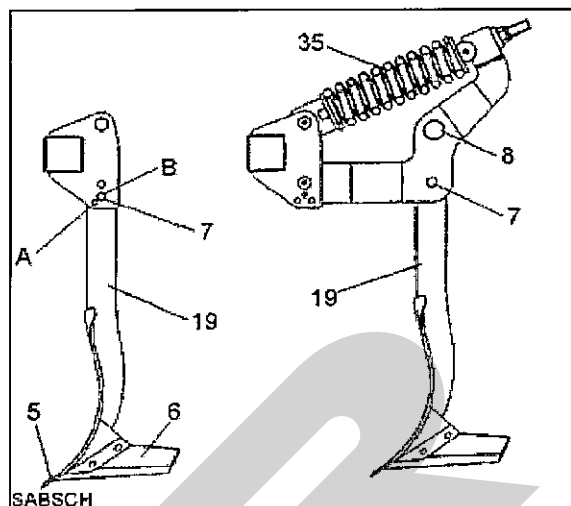
- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- 外部ディスクを作業位置に広げた状態で、公道を走行しないでください。

11 シェアボルト

各タイン(19) とディスクキャリアにはシェアボルト(7) が取り付けられており、カルチベーターやタイン、ディスクの過負荷を防いでいます。

シェアボルトの交換は以下のように行います：

- a) カルチベーターを数cm 上げます。
- b) シェアボルト(7) の残骸を取り除きます。
- c) タインまたはディスクを元の位置に振り動かします。
- d) 新しいシェアボルトを該当の穴に取り付け慎重に締めます。



以下に示すシェアボルトのみを使用してください。

これ以外のもを使用すると、フレーム、タイン、ディスク運搬器に損傷を与え、またシェアボルトが早くせん断されることになります。

| | タイン | ディスク運搬器 |
|-----------|---------------------------------|--------------------------------|
| スマラジド 7 | 301 7314 M 10×55 B = 13/10.9 | 301 3240 M 10×45 B = 10/8.8 |
| スマラジド 7 U | 301 3870 M 26×65 B = 20/10.9 | 301 3240 M 10×45 B = 10/8.8 |

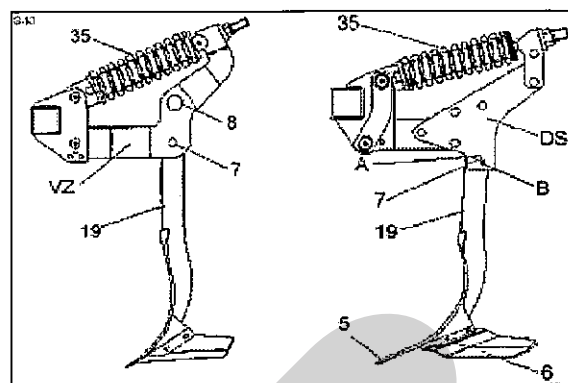


- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- シェアボルトを交換する際は、必ず適切な道具を使用してください。

12 自動過負荷安全装置付きスマラジド

スマラジド7 Üカルチベーターのタイン(19)は、スプリング(35)付き自動過負荷安全装置を装着し、特に石の多い土壌用に設計されています。

タインは衝撃に対して後ろに折れ曲がり、障害物を乗り越えた後、自動的に作業位置に戻ります。オプションとして、ディスクも自動過負荷安全装置を装着することができます。



カルチベーターはさらに、シェアボルト(7)によって過負荷から防護されています。また、付属装置として、ハローディスクはノンストップ装置を取り付けることができます。

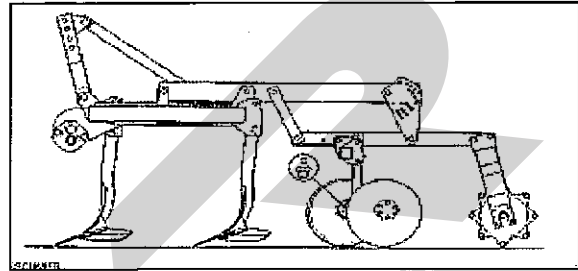
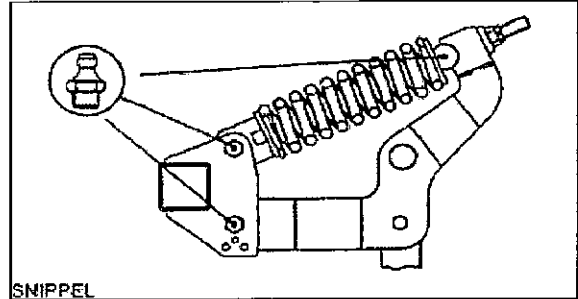


- 本書「1 一般安全規則」を熟読し遵守してください。
- コイルスプリングは張った状態にあるので注意してください。
- ボルトをきつく締めすぎると、折れ曲がったタインが作業位置に戻らない場合があります。該当するボルトを緩めると、そのときタインはフルパワーで作業位置に振り戻りますので、タインの動く範囲から十分に距離をとって行ってください。

13 メンテナンス

スマラジド・ディスクカルチベーターは最小限のメンテナンスで済みます。

- * すべてのグリース個所を高品質のグリースで定期的に潤滑してください。
- * 作業機を長期保管する前には、ディスクの表面にグリースを塗布し、調整ピンにオイルを注すことが適切です。
- * 刃の滑らかな部分、ガイドボード、ハローディスクにはすべてグリースを塗布し、錆びつきを防止してください。
- * ボルトとナットはすべて最初の作業10時間後に点検し、その後は作業20時間ごとに点検し、必要に応じて締め直してください。
- * 摩耗個所、羽、ガイドボードなどは適宜交換し、支える部分に影響を与えないようにしてください。レムケンの純正部品のみを使用してください。



重要：

最初の6週間は、この作業機を高圧洗浄器を使って清掃しないでください。その後は高圧洗浄器の口を機械から60 cm 以上離し、圧力 100bar と温度 50°C を超えない状態で清掃してください。

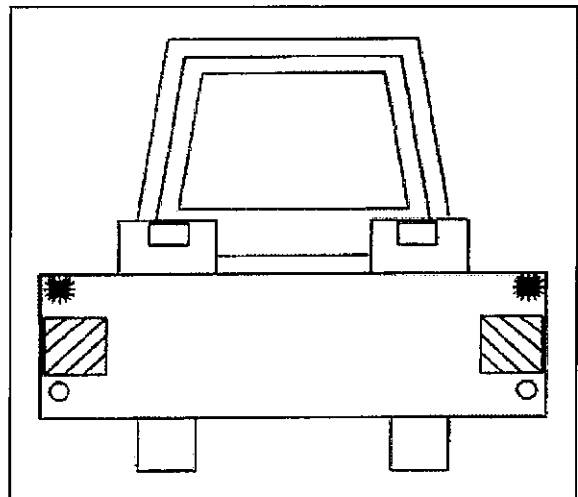


- メンテナンスに関する取扱説明と同様に、本書「1 一般安全規則」も熟読し遵守してください。

14 公道での走行

トラクターにカルチベーターを取り付けた状態で公道を走行する場合は、警告ボードと照明装置を取り付ける必要があります。

関連の交通規則に従って走行してください。



15 重量

| | KW (PS) | 作業幅 | 重量 (kg) | 重心の距離 (約、cm) |
|-------------|------------|-----|------------|-----------------|
| スマラジド7/260 | 59(80) | 260 | 689 | 145 |
| スマラジド7/300 | 74(100) | 300 | 792 | 145 |
| スマラジド7/260Û | 59(80) | 260 | 877 | 160 |
| スマラジド7/300Û | 74(100) | 300 | 1.011 | 160 |

(チューブ・バー・ローラー R SW 400 付きの重量)

16 騒音、空気伝送音

スマラジド7の騒音レベルは、作業中70dB(A)が限度となります。

17 注意

本取扱説明書に記載されている内容は、現時点でのモデルについてのみ適応しています。
従ってお買い上げいただいた作業機の装置とその説明が、記載内容とは一致しない場合もあります。

18 製品登録/保証

製品登録書の記入とサインが終わり当社に戻ってきた段階で、保証期間をお知らせします。

E C 証明書

この証明書は、ヨーロッパ経済共同体(E E C)規定 89/392 に準拠しています。

レムケン社は以下の製品について単独で責任をもつことを宣言します。

レムケン スマラジド7

(メーカー 型式)

(製造番号)

証明書はこの製品に適用され、ヨーロッパ経済共同体(E E C) 規定89/392にある衛生安全に従っています。

E E C 規定の衛生安全を正しく適応するために、次の規格と技術仕様を参考としました。

E N 292-1(11.91)

E N 292-2(11.91)

W ymondham,

(Place and date issue)

(Name and authorized person)

G. Giesen
(Entwicklung und Konstruktion)

J. Terboven
(Rech. Dokumentation)

レムケン社
Lemken GmbH & Co.KG
Weseler Str.5
D-46519 Alpen
Germany

| | | |
|--------|----------|---|
| 本 社 | 066-8555 | 千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412 |
| 千歳営業所 | 066-8555 | 千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035 |
| 旭川営業所 | 070-8004 | 旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985 |
| 豊富営業所 | 098-4100 | 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地44 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696 |
| 帯広営業所 | 080-2462 | 帯広市西22条北1丁目12番地4 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187 |
| 中標津営業所 | 086-1152 | 標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 0153-72-2624 FAX 0153-73-2540 |
| 花巻営業所 | 028-3172 | 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割120番3 TEL 0198-46-1311 FAX 0198-45-5999 |
| 仙台営業所 | 983-0013 | 宮城県仙台市宮城野区中野字神明179-1 TEL 022-388-8673 FAX 022-388-8735 |
| 小山営業所 | 323-0158 | 栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560 |
| 名古屋営業所 | 480-0102 | 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416 |
| 岡山営業所 | 700-0973 | 岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269 |
| 熊本営業所 | 861-0939 | 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525 |
| 都城営業所 | 885-1202 | 宮崎県都城市高城町穂満坊1003-2 TEL 0986-53-2222 FAX 0986-53-2233 |